

松江認知症家族の会 2018 年度総会 記念講演

# 「8050 問題」を考える

期 日 2018 年 4 月 20 日午後 1 時～1 時半

場 所 殿町サンラポーむらくも

講 師 みやもと きょうこ  
**宮本 恭子 氏**

(島根大学法文学部法経学科・教授)



安定した自前の生活の収入源も持たずに、50歳にもなった子供が80歳の認知症の親を介護しながら、その親の年金に頼って暮らしている実態を身の回りで見かけませんか。

親がいなくなってしまうからの、その子の老後はどうなるのでしょうか。未来の社会に暗い影を落とす「8050問題」は現代の社会病理です。一緒に考えましょう。

●講師プロフィール○専門分野 社会保障論 福祉経済論、雇用政策○研究テーマ＝持続可能な社会保障制度、社会保障制度と地域活性化、介護離職・ワークライフバランス、貧困・生活困窮者支援に関する研究、外国人雇用政策、子育て支援と移住、格差研究

○自己紹介 長期にわたる経済の停滞、グローバル化と国内産業の調整、人口の高齢化と社会保障への期待の高まりなど、現代は、大転換の時代にあります。この現代の時代に必要な新たな経済社会の枠組み、持続可能な社会保障の仕組みはどのようなものかを考えること、これが私の研究課題です。さらに今後の研究課題は、福祉、社会的課題解決を通じた地域活性化の対応方策のあり方について検討し、実践につなげることです。